

院内コーディネーターについて

富山県内には、所属する病院長より推薦を受けて、石川県知事から委嘱状を交付された「院内コーディネーター」が設置されています。院内コーディネーターは県内21の公的病院と1つの民間病院に合わせて51名が配属されています。臓器提供や献眼の希望があった場合にスムーズに連絡対応ができるように病院内での体制を整えたり、患者様やそのご家族からの「臓器提供」や「献眼」について相談を受けたりするのが主な業務です。ほとんどの方が看護師と兼務されています。

人口の約80%の方が、病院で最期を迎える時代となりました。病院における患者様の献眼の意思が尊重され、円滑な提供が実施されるためには院内コーディネーターの役割は重要です。患者様が病院にかかった時には、問診票なので臓器や献眼についての意思を確認することが増えてきます。ぜひ、受診された際には、あなたの意思を病院につたえて頂ければと思います。

「提供する権利、したくない権利どちらも尊重されます。」

助成金・寄附金・賛助会費・募金等に関するご報告
(5/1~5/31まで) 敬称略

寄附金

- ・磯野敏雄(富山東LC) 10,000円
- ・浜田ヒロ子 10,000円 ・下関幸子 3,000円

賛助会費 個人

- ・岡本武勇(大山LC) ・奥原喜代司 ・大庭知子

募金

- ・じゅうじゅう大沢野店 775円

ありがとうございます

お知らせ

理事会…6月13日
評議員会…6月27日
上の通り開催致します

関係役員の方々におかれましては、お忙しいとは存じますが、何卒ご出席賜ります様、よろしくお願ひ申し上げます。

◆北陸3県院内コーディネーター合同会議

去る5月13日、石川県庁にて北陸三県の院内コーディネーターが集まり、合同勉強会が行われました。入江コーディネーターが組織移植について講演し、献眼についての理解を深めて頂きました。院内教育や、ご提供に際しての情報対応から意思確認を想定したグループワークでは、活発な意見交換が行われ、院内コーディネーターの皆様の熱意を感じました。

◆2名の方からご献眼いただきました。

去る5月4日、上市町の80代男性の方から、ご献眼いただきました。院内コーディネーターがご家族にお話をされてのご提供となりました。

また、5月7日のご献眼は、富山市の80代女性の方で、ご遺族が献眼登録をされていました。献眼はよいことなのでと、ご提供いただきました。ご葬儀では、宮岸副理事長が弔辞を奉読いたしました。

本当に有難うございました。

<5月の事業実績の概要>

・献眼登録者数	1名
累計	10名
・献眼者数	2名
累計	4名
・奉仕銀行助成金	¥0
累計	¥1,250,000
・寄附金収入	¥23,000
累計	¥16,000
・賛助会費収入	¥9,000
累計	¥618,000
・募金収入	¥775
累計	¥24,062
(助成金寄附金等収入)	¥1,908,062